

生産性向上支援訓練カリキュラム

D. データ活用	データ処理の作業効率を高める！
表計算ソフト活用	Excel関数活用 正式名:業務に役立つ表計算ソフトの関数活用

コースの ねらい	業務の効率化を目指して、事務処理に必要なデータ処理における表計算ソフトの関数の効果的な活用方法を習得する。
-------------	---

対 象	(Step1) ・Excelの基本操作ができる方 ・基本的な関数やよく使われる関数を学びたい方
-----	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 データの処理	(1) 関数とは ①関数の基本【実習あり】 ・関数の仕組みを理解し、基本的な関数の入力方法を学習する (2) 絶対・相対参照【実習あり】 ①絶対・相対参照を習得し、数式をコピーすることによって効率が上がることを実習から学ぶ ②スピルを使った数式を学ぶ	1.0
	2 関数の実務活用	(1) 条件によって判断する関数【演習あり】 ・IF関数を使用し指定した条件を満たしている場合と満たしていない場合の結果を表示する ・指定した条件が複数の場合、IFS関数やIF関数にANDまたはOR関数を組合せて(ネスト)結果を表示する 【参考】 ・IFS関数(Excel2019からの新関数)で複数の異なる条件を順番に判断し、条件に応じて結果を表示する ・SWITCH関数(Excel2019からの新関数)で値の中から、検索値で指定した値と一致するものを探し、対応する結果を表示する (2) 該当するデータを検索し表示する関数【演習あり】 ・VLOOKUP/XLOOKUP関数を使い、キーとなるコードや番号をもとに参照用の表から該当するデータを表示する ・VLOOKUP関数とIF、IFERROR関数を組合せて(ネスト)エラー表示を回避する (3) 条件を満たしているデータの合計や個数を求める関数【演習あり】 ・SUMIF関数を使い、条件を満たしているデータの合計を求める ・COUNTIF関数を使い、条件を満たしているデータの個数を求める (4) 端数処理の関数【演習あり】 ・ROUND/ROUNDUP/ROUNDDOWN関数を使用して、数値の端数を処理する数式を作成する。	4.5
	3 生成AIの活用	(1) 生成AIの理解と活用方法 ・生成AIの特性、業務で利用する際でのリスクには、その能力に伴うリスクを理解し、適切に活用する。 ・AIに関数を作成させるコツ	0.5
	演 習	関数を活用した効率的なデータ集計資料の演習 ・データ演算演習・関数を活用した売上実績/営業実績のデータ処理 ・関数を活用した請求書等の演習	基本項目 に含む
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
実務で使用される頻度の高い関数を中心に活用方法を紹介し、データを正確に効率よく扱い、帳票類を作成するカリキュラムとした。AIに入力したデータがどのように利用されるか不明な場合(特に無料の外部AIツール)、顧客データや社内の機密情報、個人情報を入力してはいけません。

備考
・Windows11 ・Excel2024